

令和 8 年度 （ 政治経済 ） シラバス

教 科	公民	科 目	政治経済		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	文
教 科 書	高等学校政治経済（第一学習社）		副教材	最新図説政経（浜島書店） 政治経済ワークブック （高等学校教育研究会公民部門編）	
学習目標	1 現代社会の諸課題について、国際的視野に立って政治・経済・社会・文化など様々な観点から探究し、時事的な問題を切り口に現代社会に対する興味・関心を高める。 2 資料の収集方法や活用の仕方、レポートのまとめ方など学び方を身に付ける。 3 広い視野に立って現代社会と自己との関わりに着目し、いかに生きるかを主体的に考える。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第 3 節 市場経済の機能と限界 第 4 節 持続可能な財政および租税のあり方 第 5 節 金融を通じた経済活動の活性化 第 6 節 経済活動と福祉の向上	・市場の需要と供給の関係を正しく理解するとともに現代社会の特質の理解を深める。 ・財政の基本的なしくみや役割を理解し、租税に対する意識を高め、自分たちの果たすべき役割を考える。 ・金融政策について理解し、金融をめぐる環境の変化について考察する。 ・日本の社会保障制度を体系的に理解し、現在の制度上の問題と課題について考察しく自分たちの生き方について考える。
2 学期	第 2 編 現代日本の諸課題の探究 第 1 章 相互依存関係が深まる国際経済の特質 第 2 章 国際経済において求められる日本の役割	・日本経済において日本が直面している様々な課題について考察を深める。 ・国際経済に関する基本的概念や理論を理解する。 ・グローバル化に伴う国際的な移動の影響を考察し、日本が果たすべき役割を考察する。
3 学期	第 2 章 国際社会の諸課題の探究	・現代の国際社会の諸課題を探究し、国際社会における日本（日本人）の役割と責任について考える。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、倫理的主体として活動するために必要な情報を効果的に調べまとめる。	考查 発問に対する応答
思考・判断・表現	事実をもとに多面的・多角的に考察して公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	考查 発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に入れ、国家及び社会の形成者として、現実社会の諸課題について、主体的に解決しようとしている。	授業態度 授業中の提出課題 考查時の提出物